防災回覧3号　　2024/03/05

竜巻

竜巻は日本のどこでも発生する

近年、日本でも竜巻によって被害を受ける災害がたびたび発生しています。竜巻は季節を問わず発生していますが、特に台風シーズンの９月、10月に多く確認されています。竜巻が発生すると、中心部では猛烈な風が吹き、建物の瓦礫や看板などが空中に巻き上げられ飛来物となって、大きな被害を及ぼすことがあります。危険を避けるため、鉄筋コンクリートなどの頑丈な建物の中や地下施設に入って通過するのを待ちます。

2019年に台風が房総半島を直撃したときは、市内の市東地区で竜巻が発生し大きな被害が出ました。
これも温暖化の影響と思われますが、日本でも竜巻が身近なものになってきました。

竜巻から身を守るために

屋内にいたら

窓ガラスの破片や飛来物を避けるため、一戸建住宅では１階の窓の少ない部屋に移動。雨戸、カーテンを閉め、窓から離れて頑丈なテーブルの下で竜巻の通過を待ちます。

屋外にいたら

突風や飛来物を避けるために、頑丈な建物の中や地下施設に移動します。近くにそれらがない場合は、物陰やくぼみなどに隠れて竜巻の通過を待ちます。

竜巻が予想される地域を調べる

気象庁のホームページで竜巻発生確度ナウキャストを見れば、竜巻などの激しい突風が発生する可能性のある地域を事前に確認できます。

http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/